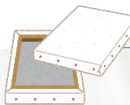


981-1224
 名取市増田字柳田570-2
 仙台法務局名取出張所2階
 生涯学習課
 TEL:022-724-7173
 FAX:022-384-9690
 Mail:syogaku@city.natori.miyagi.jp

生涯学習 マナビイ通信

Vol.16

まだ暑さが残りますが、もう9月。芸術の秋ですね。音楽、演劇などいろいろなありますが、絵画はいろいろあります。なんとなく上手に描かなければと思いがちですが、自由に今の気持ち表現すればよいとのこと。生活の中で感じる「嬉しい」「楽しい」「悲しい」といった感情を絵で表現できれば、心が満たされそうな気がします♪



中学生に絵の描き方を→
 教えていた時にふと思いついた作品。薄墨技法を使用。

←デッサンした花に色づけし、淡水彩に。



我がこの手にありがとう。

マナビイ宅配便登録講師
 しもさこ ゆうき
下窄 祐生先生

「言葉以上に心が表れる。
 それが絵。」



下窄先生ってどんな人？

肖像画を描くのが上手だったお兄さんの影響で小学生の頃、絵に興味をもちました。その後、中学の美術の先生から、絵の才能を見込まれ、手のデッサンで、高校の産業デザイン科に推薦入学。高校時代、公募展で数々の入賞を果たしました。高校卒業後、造船会社で完成予想図を描く仕事をされた後、広告会社勤務を経て、現在、フリーで絵を描いています。

絵を描くことは、素直な感情を表現する一つの手段で、誰でも鉛筆一本あれば気軽に始められます。道具は何を使っても大丈夫です。家族や友達に気持ちを伝えたい時、絵を描いて表現し、そこから会話を弾ませることができま

す。コミュニケーションの一つの方法として、絵を使うのは最高です。上手に描くことより、描くことそのものを楽しいと思ってもらいたい。描くにつれて、対象に対する洞察力や観察力はついてくるものです。

先生からのメッセージ



「手と空き瓶」をデッサンしてみよう！



簡単なポイント別に下窄先生に解説していただきました。

※アタリ

対象をバランスよく描くため、目印をつけ、大まかな位置取りをすること



①※アタリをつけ、手と空き瓶の形を描く。



②ピンと手の境目など暗くなっているところには、影をつける。



③アタリやアウトラインを消す。

「消して、光を入れる」



⑤消しゴムを使って、黒い部分に光を入れる。



④ピンの向こう側や向こう側に写る指を描くと、丸い形状や素材の透明さを表現できる。



⑥練り消しでゴミをとる。

⑦完成！切れ目やピン底の厚い部分は、コントラストが強く、ガラスの透明感が出ている。手には、皮膚の柔らかさが。



デッサンのポイント講座

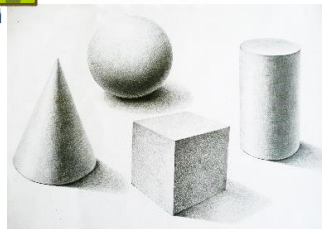
下窄先生のデッサンを見て、色や素材の違いを表現する方法を学ぼう。

岩沼市中学校部活動支援事業で美術の講師を務めています。



生徒さん達が描く様子を見て歩く下窄先生。生徒さん達は、実物や写真、スマホの画像を見ながらデッサンする。

まずは生徒さん自身で描いた絵を自己評価。うまくいかなかった部分は、先生がアドバイスをします。



基本の図形に影や光を正しく入れられることが大事



トーンで色の違いを表現



コントラストで素材の硬さや質感を表現

下窄先生による作品の数々

これまで似顔絵約50点、ウエディングボード約10点を描いた。↓



矢沢永吉さん。熱唱する声が聞こえてきそう→

←先生がプロポーズの際、奥さんのために描いた。



生涯学習課では、市民の皆さんが企画・主催する催して、講演いただくマナビイ宅配便登録講師を随時募集しています。

様々な分野で経験豊富な皆さんの講師登録をぜひお待ちしております♪



下窄先生の講座の申込を希望する人は、名取市HPに掲載された申込書を提出もしくは生涯学習課まで電話・メールでお問い合わせください。(☎022-724-7173)